



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社
コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	42,375	4.4	2,027	△19.4	2,095	△19.1	1,296	△26.7
2024年3月期第3四半期	40,600	2.8	2,516	22.0	2,590	22.8	1,767	29.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,313百万円 (△26.2%) 2024年3月期第3四半期 1,780百万円 (29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	52.57	52.06
2024年3月期第3四半期	71.55	70.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,360	16,695	54.7
2024年3月期	30,987	16,068	51.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,616百万円 2024年3月期 15,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,300	4.1	2,460	△18.9	2,500	△20.8	1,500	△25.2	60.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) セントケアほっと株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	25,003,233株	2024年3月期	24,998,733株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	363,831株	2024年3月期	279,648株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	24,658,953株	2024年3月期3Q	24,710,056株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されている一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しております。介護サービス職業従事者の有効求人倍率は3～4倍台を推移しており、その中でも当社グループの主力サービスでもある訪問介護に従事する訪問介護員においては2023年度で14.14倍（出所：厚生労働省「職業安定業務統計」）と極めて採用が困難な状況となっております。人材不足や報酬改定等も相まって介護事業者の倒産件数も増加するなど、従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっております。当社グループにおいても、採用環境としては厳しいながらも当期は人材採用を強化したことで採用はできているものの、離職者も増加傾向にあることから人的資本の観点から取り組みを強化いたします。これらの環境変化に迅速に対応していくとともに、引き続き中重度・医療的ニーズの高いお客様への対応を重要課題として、「これまでも、これからも、ずっと在宅」をスローガンに掲げ、お客様が住み慣れた地域で生活し続けることを可能にするソリューションを提供してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は423億75百万円（前年同期比4.4%増）となりました。重点投資サービスである訪問看護や看護小規模多機能型居宅介護といった医療系サービスが成長を牽引したものの、訪問介護サービスでは依然としてお客様の休廃止数が高止まりの傾向にあります。デイサービスでも感染症の拡大もあって既存拠点を中心に利用控えやお客様の休廃止が継続していることで回復が弱く、新規開設拠点においても立ち上がりのスピードが遅れており、これをM&A（株式取得及び事業譲受）で取得した拠点がカバーする形で増収となっております。この他、住宅リフォームでは減収となっております。各サービスとも全体的には増客はできているものの、お客様を取り巻く市場環境は変化しており、増客ペースや採用状況が想定を下回ったことで売上高は緩やかな伸びに留まりました。

費用面では、労働市場の賃金上昇を受けて期初から積極的に取り組んだ従業員の待遇改善等により人件費が増加したほか、継続的な物価上昇により経費も増加しております。特に求人広告費や人材紹介料等の採用関連費用が増加しております。また、近年では契約社員は減少傾向にあり、登用も含め正社員の採用による増員と稼働時間の確保を進めているものの、人材確保の難しい地域やサービスを中心に外注派遣費も増加しました。価格転嫁の出来ない事業特性も重なり、これら人件費や経費の増加が利益を押し下げる結果となりました。

新規出店による影響としましては、当第3四半期連結累計期間においては、訪問介護6ヶ所、訪問入浴3ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、訪問看護10ヶ所、デイサービス3ヶ所、看護小規模多機能型居宅介護4ヶ所の合計27ヶ所（前年同期：23ヶ所）の新規開設を実施したことによる開設等の費用が増加しております。これに加えて、当第3四半期連結累計期間で4件のM&A（株式取得及び事業譲受）を実施しており、サービスとしましては訪問介護1ヶ所、訪問入浴2ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、デイサービス10ヶ所、小規模多機能型居宅介護1ヶ所、ショートステイ1ヶ所、サービス付き高齢者向け住宅1ヶ所の合計17ヶ所のサービス事業所を取得し、その業績を取り込んでおります。これらの業績及び取得関連費用が短期的には利益を押し下げる一因となっておりますが、早期黒字化と収益改善を進めてまいります。

この結果、営業利益は20億27百万円（同19.4%減）、経常利益は20億95百万円（同19.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は12億96百万円（同26.7%減）と増収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護においてお客様の獲得は進んでいるものの、引き続きお客様の休廃止等の影響により、売上高は想定よりも弱い伸びに留まりました。利益面では減益となっておりますが、これは主に報酬改定（基本報酬の引き下げ）の影響によるものであり、概ね想定通りの結果となりました。また、訪問看護においては、前期11ヶ所の開設に加えて、当第3四半期連結累計期間に10ヶ所を開設したことでお客様数は増加したものの、新規お客様の医療機関などからの動きに鈍さがみられたことや開設による人件費等の増加により増収減益となり、訪問系サービス全体でも増収減益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護において、当第3四半期連結累計期間に4ヶ所を開設するなか、前期以前に開設した拠点が収益貢献しております。デイサービスにおいては、当第3四半期連結累計期間にM&Aにて10ヶ所を取得したことで増収となった一方で、既存拠点の回復が遅れていることや新規開設に伴う費用の増加等から減益となっております。また、グループホームでは引き続き外注派遣費が増加していることで減益となりました。

これらの結果、売上高は415億62百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は13億20百万円（同26.3%減）となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当第3四半期累計期間末日において43ヶ所で活動しており、引き続き積極的にエリアを拡大してまいります。

・その他

その他においては、ケアボット株式会社の介護ロボット販売事業の売上高及び利益が減少した一方、セントワークス株式会社の介護保険ASPシステムの販売事業で売上高及び利益が増加しました。その結果、売上高は10億55百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は95百万円（同10.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より6億27百万円（前期末比2.0%）減少し、303億60百万円となりました。

流動資産は、前期末より5億36百万円（同3.0%）減少し、171億16百万円となりました。これは主に売掛金が6億円増加した一方で、現金及び預金が10億48百万円、流動資産「その他」に含まれております未収入金が1億29百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より91百万円（同0.7%）減少し、132億43百万円となりました。これは主に無形固定資産が1億73百万円増加した一方で、投資その他の資産が1億45百万円、有形固定資産が1億19百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より11億54百万円（同13.6%）減少し、73億29百万円となりました。これは主に未払金が3億25百万円増加した一方で、賞与引当金が7億4百万円、未払法人税等が5億63百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億97百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より99百万円（同1.6%）減少し、63億34百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債が1億33百万円増加した一方で、リース債務が1億29百万円、長期借入金が84百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より6億26百万円（同3.9%）増加し、166億95百万円となりました。これは主に利益剰余金が6億78百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想につきましては、2024年5月15日に発表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年2月7日）の「通期業績予想の修正及び中期経営計画の一部取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,021,974	6,973,219
売掛金	8,459,988	9,060,002
棚卸資産	118,884	135,025
その他	1,067,015	962,704
貸倒引当金	△14,863	△14,113
流動資産合計	17,652,998	17,116,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,070,064	5,137,821
リース資産(純額)	2,379,369	2,253,555
その他(純額)	1,301,497	1,240,141
有形固定資産合計	8,750,930	8,631,518
無形固定資産		
のれん	301,756	398,978
その他	279,991	355,990
無形固定資産合計	581,747	754,969
投資その他の資産		
差入保証金	2,089,418	2,058,155
その他	1,912,667	1,798,536
投資その他の資産合計	4,002,085	3,856,692
固定資産合計	13,334,763	13,243,179
資産合計	30,987,762	30,360,019
負債の部		
流動負債		
買掛金	549,550	639,016
1年内返済予定の長期借入金	965,389	668,209
リース債務	176,558	176,856
未払金	3,642,864	3,967,876
未払法人税等	772,598	208,690
賞与引当金	1,341,876	636,990
その他	1,035,636	1,032,126
流動負債合計	8,484,473	7,329,765
固定負債		
長期借入金	1,280,166	1,195,336
リース債務	2,782,103	2,652,156
退職給付に係る負債	2,100,248	2,234,245
資産除去債務	166,216	171,646
その他	105,830	81,358
固定負債合計	6,434,564	6,334,742
負債合計	14,919,037	13,664,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,405	1,773,080
資本剰余金	1,728,305	1,729,913
利益剰余金	12,801,029	13,479,464
自己株式	△229,548	△299,615
株主資本合計	16,072,192	16,682,843
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△84,052	△66,571
その他の包括利益累計額合計	△84,052	△66,571
新株予約権	80,584	79,239
純資産合計	16,068,724	16,695,511
負債純資産合計	30,987,762	30,360,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	40,600,926	42,375,123
売上原価	35,149,967	37,240,539
売上総利益	5,450,959	5,134,583
販売費及び一般管理費	2,934,239	3,107,094
営業利益	2,516,719	2,027,489
営業外収益		
受取利息	3,101	4,548
受取配当金	2,177	2,858
受取保険金	12,815	13,338
受取家賃	33,624	36,527
補助金収入	99,399	77,137
助成金収入	12,849	14,373
その他	39,492	31,922
営業外収益合計	203,460	180,706
営業外費用		
支払利息	95,927	90,568
持分法による投資損失	18,188	6,660
その他	16,005	15,119
営業外費用合計	130,122	112,349
経常利益	2,590,058	2,095,846
特別利益		
固定資産売却益	9	736
補助金収入	39,181	155,752
事業譲渡益	44,768	—
受取和解金	18,000	—
持分変動利益	44,458	—
その他	—	424
特別利益合計	146,417	156,912
特別損失		
固定資産除却損	2,902	1,119
固定資産圧縮損	39,078	155,206
減損損失	4,696	—
特別損失合計	46,678	156,325
税金等調整前四半期純利益	2,689,797	2,096,433
法人税等	921,832	800,021
四半期純利益	1,767,964	1,296,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,767,964	1,296,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,767,964	1,296,411
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	12,342	17,481
その他の包括利益合計	12,342	17,481
四半期包括利益	1,780,306	1,313,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,780,306	1,313,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	690,647千円	671,931千円
のれんの償却額	54,854	67,215

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	39,866,737	39,866,737	734,189	40,600,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,700	2,700	262,226	264,926
計	39,869,437	39,869,437	996,415	40,865,853
セグメント利益	1,792,312	1,792,312	106,360	1,898,673

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,792,312
「その他」の区分の利益	106,360
セグメント間取引消去	2,386,729
のれんの償却額	213
全社費用 (注)	△1,768,896
四半期連結損益計算書の営業利益	2,516,719

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	41,562,737	41,562,737	812,385	42,375,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	243,037	243,037
計	41,562,737	41,562,737	1,055,423	42,618,160
セグメント利益	1,320,455	1,320,455	95,223	1,415,678

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,320,455
「その他」の区分の利益	95,223
セグメント間取引消去	2,482,503
のれんの償却額	213
全社費用(注)	△1,870,906
四半期連結損益計算書の営業利益	2,027,489

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。